

## **ダビンチ Sp の取り扱いについて**

ダビンチのトレーニングは 2 階建てになっており、製造販売元の提供する機器使用についての講習（オンライントレーニング、オンサイトトレーニング、ベーシックコース：TR100）を受講頂いた後、手術手技の講習（カダバーを用いたアドバンスコース）を受講頂き、初回例ではプロクターを招聘いただくことになっています。この度、単筒式のダビンチ Sp の販売が 1 月 31 日に開始され、今後 TORS でも導入が予想されます。導入の際には、

- A) ダビンチ Sp のトレーニング**
- B) ダビンチ Sp 国内導入初期のプロクタリング**
- C) 従来機の使用経験がなく Sp で初回例を行う施設の扱い**

の 3 点が問題となりますが、当委員会として下記の対応を致します。

### **A) ダビンチ Sp のトレーニングについて**

従来の構造が大きく変わるため、製造販売元の提供する機器使用についての講習（TR100）を新たに受けていただく必要があります。従来機の使用経験がある術者については無料で講習を受けることができますので、ご案内申し上げます。従来機の使用経験がなく、ダビンチ Sp が初めての場合は受講料が必要です（価格は現段階では未定です）。

一方、手術手技の講習（アドバンスコース）は、機械によって手技が変わるものではありませんので、すでに従来機での受講歴がある術者は再受講不要と考えております。

B) 国内初期導入時のプロクター招聘等について

国内 2 施設目以降の運用については各学会の判断に委ねられており、例えば泌尿器科では、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会が Sp 導入 2 施設（術者4名）を認定して導入を開始し、その後はその4名がプロクターとして他施設のプロクタリングに回るという方針になっています。

上記を踏まえ、頭頸部においては以下の運用と致します。

- ・ 従来機のプロクターのうち、Spを国内で最初に導入する2施設（術者4名）を認定して導入を開始し、その後はその4名がプロクターとして他施設のプロクタリングに回る。
- ・ 上記プロクターが1例目経験すれば、Spに関してもプロクターとして他施設の指導にあたる

C) 従来機の使用経験がなく、Spで初回例を行う施設について、以下の運用と致します。

- ・ 製造販売元の提供する機器使用についての講習についてはダビンチ Sp 用の講習（TR100）受講が必要。
- ・ アドバンスコース（カダバー）については、ダビンチ Xi を使った実習で代用可能。
- ・ 初回例実施時には、ダビンチ Sp のプロクターを招聘して頂く。

以上